

協働通信

地域協働のまちづくりの推進会

— 防災特集 — 3

◆地域協働のまちづくり推進会 防災担当者・意見交換会を開催しました

12月10日(月)、まちづくり市民活動支援センターにおいて、地域協働のまちづくり推進会連絡会の主催による「各地域協働のまちづくり推進会防災担当者・意見交換会」を開催しました。防災や減災に向けた取組に住民の関心が高まる中、各推進会が行う防災の取組をよりよいものにしていくために、取組に直接関わる担当者や関係者を交え、意見を交換し合いました。内容を抜粋して掲載させていただきます。

■各推進会の取組は。

禾生 推進会主催で防災避難訓練を地域の自主防災会や自治会、消防団などと協力して行っている。また、「コミュニティセンターにおいて救急救命講習を開催してきたが、今後は自治会館などで地域単位の開催を考えている。

宝 宝地域も自主防災会や消防団、学校などに呼び掛けて、自主防災訓練を開催している。

谷村 谷村地域では、当初、「防災カード」の普及に努めた。その後、防災から減災に力を入れることにし、委員会の名称も「防災実行委員会」から「安全・あんしん実行委員会」に改称。また、谷村工業高校と社会福祉協議会

▽都留市まちづくり市民活動支援センター
都留市上谷2-1-15
都留市役所
新町別館1階
▽開館
月～金(祝日除)
8:30～17:15
▽問い合わせ先
mail: shien@city.tsuru.yamanashi.jp
☎(46)5236
FAX (46)5237

の橋渡しをし、災害協定を結ぶお手伝いをさせていただいた。現在は、「二日前プロジェクト」と題し、各地区で参加者自身に、「ふりかえり」をしてもらうことで、災害への意識啓発をしている。



開地 防災講演会を開催している。被災者の体験談などを聞くことで災害を身近に感じてもらえるよう工夫している。また、4年前に作成・配布した避難マップの見直しを予定している。

東桂 子ども達の安全を守るためにスクールガードに力を入れている。現在、防災講演会などは実施していない。

盛里 各家庭で災害への備えをしてもらえるよう「防災手帳」を作成し配布した。玄関先に配備し、救助に来た人に必要事項が伝達できる仕組みになっている。

■今後の取組について。

開地 地域の防災への取組は、自主防災会が自主的にすることが本来の形だと思うが、自主防災会の会長を自治会長が兼任することが多いため、短い任期の中で取組を実施するまでの意識がなかなか持てない。防災講演会など自主防災会が実施できないところを推進会が応援できればと考えている。

盛里 意識を高めることは必要だと感じている。試行錯誤をしながらも様々な取組を行い、意識を高めていくことが大切だと考える。

谷村 地域防災の主体は、あくまでも自主防災会や消防団で、それぞれ役割を果たしている。推進会の立ち位置は、自主防災会や消防団、行政などの隙間の部分をサポートし、取組を進めていくことではないかと考える。実施している谷村地域の「二日前プロジェクト」も、これまで行われてきた「教わる場」を提供するのではなく、「一人ひとりが「考える場」を提供している。

禾生 災害時には、一つの避難場所に複数の自治会が集まることになるので、避難場所に来る自治会同士の連携や調整を平常時から図る必要があるが、そういった機会がない。そこで、今年度、禾生地域では、各自治会・自主防災会と協力して、避難場所単位の訓練を行い、多くの住民に参加していただいた。推進会は、そういった調整役をするのが良いのではないかと考える。

宝 様々な課題はあるが自主防災会や消防団と協力しながら、地道な活動を続けていくことが大切だと感じている。

■社会福祉協議会の取組は。

社会福祉協議会職員 災害時は市の災害対策本部と協議の上、災害ボランティアセンターを立ち上げて被災者支援にあたる。平時時には地域の関係者と連携して備えを強化していく。自主防災会・民生委員・消防団など、機動性のある情報伝達や、助け合い・支え合いの活動を具体化するにはどう進めていけばよいか検討していく。

■市の取組は。

市職員 「災害時要援護者台帳」を作成して関係機関との情報共有に向けた取組を進めている。また、「土砂災害警戒区域等マップ」をもとに市内各地域のハザードマップを今年度中に作成し、各家庭に配布する予定。さらに、全ての要援護者関連施設に対し、連絡体制・避難場所などの情報をまとめた施設ごとのカルテを作り、災害時に実効性のある対応ができるような取組を進めている。いずれにしても、災害時の命令系統は消防団や自主防災会であるが、推進会のように継続性のある活動や他の組織をサポートする組織は、地域にとって貴重ではないかと考える。

地域のお知らせ

谷村地域

夢実現ひろば 給食センター見学

1月24日(木)10時～13時

集合場所 ぴゅあ富士(バスで移動)

内容 新設された給食センターを見学し、小中学生の健全な食育について考える。